



令和3年5月20日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）における 令和3年度新規研究開発プログラムとプログラム総括の決定 および令和3年度研究開発提案募集について

JST（理事長 濱口 道成）は、社会技術研究開発センター（RISTEX）が推進する戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）において、「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム」の下に特別枠（社会的孤立枠）として、「社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築」を新規に設定し、そのプログラム総括（社会的孤立枠担当）を追手門学院大学 浦 光博 教授に決定しました。

社会技術研究開発は、現存する社会問題の解決や将来起こり得る社会問題への対処などを通して、新たな社会的・公共的価値の創出を目指す事業です。社会問題に関係するさまざまな関与者と研究者が協働するためのネットワークを構築し、競争的環境下で自然科学と人文・社会科学の知識を活用した研究開発を推進します。

今回新たに設定したプログラムでは、人口減少・少子高齢化、経済変動、新興感染症による影響など、さまざまな社会構造の変化を踏まえ、社会的孤立・孤独のメカニズムを検証し、予防につなげる提案を募集します。プログラムの設置期間は令和3年度から令和8年度までとし、今後、複数年にわたり公募を実施する予定です。運営責任者であるプログラム総括がアドバイザーなどの協力を得て、研究開発提案の募集、選考、並びに採択後の研究開発マネジメントなど、プログラム目標の達成に向けた取り組みを推進します。

<募集期間>

令和3年5月20日（木）～7月20日（火）正午

なお令和3年度は、全ての提案について、新型コロナウイルス感染症の社会的影響を踏まえたものを募集します。

研究開発提案募集の詳細については、別紙および下記ホームページを参照してください。

URL <https://www.jst.go.jp/ristex/>

<添付資料>

別紙：令和3年度新規「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム
（社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築）」募集概要

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 社会技術研究開発センター 企画運営室

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

東出 学信（ヒガシデ タカノブ）

Tel：03-5214-0133 Fax：03-5214-0140

E-mail：boshu-koritsu@jst.go.jp

令和3年度新規
「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム
(社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築)」
募集概要

1. 研究開発プログラムの目標

本プログラムでは、社会的孤立・孤独のメカニズムを明らかにするとともに、社会的孤立・孤独を生まない社会像を描出し、人や集団が社会的孤立・孤独に陥るリスクの可視化や評価手法（指標など）、予防する社会的仕組みの研究開発を推進します。本プログラムの実施を通して、人・組織・コミュニティ間の多様なつながりやネットワークを実現し、孤立・孤独を生まない社会の創出を目指します。

2. 募集期間

令和3年5月20日（木）～令和3年7月20日（火）正午

3. 研究開発期間・規模

（1）スモールスタート（可能性検証）^{注1）}

研究開発期間：原則1年半

研究開発費：1,200万円／年（直接経費）程度上限

ステージゲート評価^{注2）}にて、研究開発の継続が妥当と判断された場合、以下の本格研究開発に移行する。

（2）本格研究開発

研究開発期間：原則3年間

研究開発費：スモールスタート期間の予算規模と同程度～2倍程度の想定

注1） スモールスタート（可能性検証）

プロジェクトの採択時には比較的小規模で開始し、本格研究開発に向けてプロジェクトの体制を整備し、PoC（Proof of Concept：概念実証）実施を含めプロジェクトの目標達成への道筋を検証する仕組み

注2） ステージゲート評価

研究開発をスモールスタートと本格研究開発のステージに分け、スモールスタート期間の評価に基づいて、研究開発の継続の妥当性を判断し、本格研究開発への移行または中止を決定する仕組み

4. 研究開発対象

本プログラムは、さまざまな社会構造の変化を踏まえ、人文・社会科学の知見も活用し、社会のメカニズム理解にまで掘り下げた研究開発が必要なものを対象とし、研究知と現場知を融合させ、施策現場でのPoC（Proof of Concept：概念実証）まで実施することを想定しています。

具体的には以下①②③の研究開発要素を含めた一体的な研究開発を推進します。概念的な研究にとどまることがないよう、特に研究開発要素③においては、社会的孤立・孤独を予防する仕組みを実証するための施策現場（国内の特定地域や、学校、職場、コミュニテ

ィーなど)を具体化した提案を求めます。

①社会的孤立・孤独メカニズム理解と、社会的孤立・孤独を生まない新たな社会像の描出

- ・人や集団の行動、心理、社会的背景の検証から、どのようなメカニズムによって社会的孤立・孤独が生じるのか、社会的孤立・孤独の状況にある者の視点も考慮した社会の在り方を分析します。その結果を基に、予防すべき社会的孤立・孤独を明確にするとともに、社会的孤立・孤独を生まない新たな社会像を描出します。

②社会的孤立・孤独リスクの可視化と評価手法（指標など）の開発

- ・①で描いた社会像の実現に向け、まず人や集団が社会的孤立・孤独に陥るリスクを早期に捉えるための可視化や評価手法（指標など）を研究開発します。

③社会的孤立・孤独を予防する社会的仕組み

- ・社会的孤立・孤独を予防する社会的仕組み（予防施策）を開発し、②で開発した社会的孤立・孤独リスクの可視化・評価手法（指標など）に基づいた評価・実証を、国内の特定地域や、学校、職場、コミュニティーなどを対象に行います。

<新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行を受けた令和3年度の公募について>

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な流行により、対面による直接的なコミュニケーションが困難となり、想定外の物理的な分断への対応が迅速かつ十分でないあらゆる場面で、社会的孤立・孤独の顕在化・深刻化が起こり、また、これまで社会的孤立・孤独から無縁だった人や集団も社会的孤立・孤独に陥るリスクが高まっています。今後、ウィズコロナ・ポストコロナの社会における望ましいつながりやネットワークの在り方を追求し、これを積極的に構築していく必要があります。従って、令和3年度は、全ての提案について、新型コロナウイルス感染症の社会的影響を踏まえたものを募集します。

5. 提案の受付方法

<応募方法>

「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」により受け付けます。

府省共通研究開発管理システム（e-Rad）ポータルサイト

URL <https://www.e-rad.go.jp/>

<公募要領、選考スケジュールなど>

詳細および最新情報は以下のホームページを参照してください。

URL https://www.jst.go.jp/ristex/proposal/proposal_2021.html

<募集説明会>

下記の通りRISTEXの第3回募集説明会において本プログラムの説明をします。

RISTEX第3回募集説明会

日時：令和3年5月25日（火）16：00～17：30

方法：オンライン（Zoomウェビナーなど）

※参加登録などの詳細は上記<公募要領、選考スケジュールなど>のURLを参照ください。

6. お問い合わせ先

科学技術振興機構 社会技術研究開発センター 企画運営室

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

東出 学信（ヒガシデ タカノブ）

Tel : 03-5214-0133 Fax : 03-5214-0140

E-mail : boshu-koritsu[at]jst.go.jp